

令和9（2027）年度文化財担当者研修予定表									
課程名	副題	定員	日程		内容・取得できる技術	分野	文化財類型	備考	申込
古文書歴史資料調査基礎課程	古文書・歴史資料の調査・取扱の入門編	15名	R9.5.31	月 ～ R9.6.4	金	(内容) 古文書・歴史資料の調査・管理等を担当する立場にあるが、当該分野に関する専門的教育を受けたことのない地方公共団体等の文化財担当者を対象に、基礎的知識の習得を目指す研修。 (取得できる技術) 古文書・歴史資料の調査・取扱に関する基礎的知識	歴史学	有形文化財(古文書・歴史資料等)	3月頃募集開始予定
建築遺構調査課程	建築遺構や出土建築部材に関する基礎知識の習得	15名	R9.6.7	月 ～ R9.6.11	金	(内容) 発掘調査で検出される建築遺構(竪穴建物・掘立柱建物・礎石建物・基壇)や出土建築部材を理解するために必要な、建物の上部構造に関する専門的知識や、上部構造を考えるために必要な情報を得るための発掘方法などについての基礎的研修。 (取得できる技術) 建築遺構や出土建築部材に関する基礎知識	考古学、建築学	記念物(史跡)、埋蔵文化財	3月頃募集開始予定
文化財石垣保存整備(実習)課程	城跡等の石垣の保存活用に関する基礎的研修の実習	10名	R9.6.7	月 ～ R9.6.9	水	(内容) R6年度・R8年度文化財石垣保存整備(講義)課程を受講した者を対象に、金沢城跡をフィールドに石垣の技法・変遷・変状の観察、石材加工の技法を実習を通じて学ぶ。 (取得できる技術) 石垣の調査法に関する基礎知識	考古学、遺跡整備	記念物(史跡)、埋蔵文化財	共催:石川県金沢城調査研究所 開催地: 金沢市 4月頃募集開始予定
建造物保存活用計画策定基礎課程	文化財建造物の保存活用計画策定に必要な基礎知識の習得	10名	R9.6.28	月 ～ R9.7.2	金	(内容) 文化財建造物の保存活用計画策定に関わる自治体担当者を対象に、法制度、保存管理、環境保全、活用等について、講義、実地研修及び演習を通じて、計画策定に必要な知識の習得を目指す。 (取得できる技術) 文化財建造物の保存活用計画策定に必要な基礎知識	建築学	有形文化財(建造物)	4月頃募集開始予定
木質文化財の科学的調査課程	木質文化財を担当する際に知っておいて欲しいこと	12名	R9.7.6	火 ～ R9.7.9	金	(内容) 木質文化財に関する科学的知識を学ぶ機会が無く、どのように取り扱ったら良いのかわからない。そんな声にお応えすべく、木材科学、年代学、保存科学など木質文化財に関わる科学的な知識を、講義・実習を通して学び、担当現場に生かすことを目指す。 (取得できる技術) 木質文化財に関する科学的基礎知識	木材科学、年代学、保存科学	有形文化財(考古資料等)、埋蔵文化財	4月頃募集開始予定
遺跡地図・GIS課程	イチから始めるGIS	対面:15名 オンライン:制限なし	R9.7.14	水 ～ R9.7.16	金	(内容) QGISの初歩的内容と遺跡地図のGISデータ化 (取得できる技術) 遺跡地図・GIS	文化財学、歴史学	有形文化財、埋蔵文化財	オンライン併用による実施4月頃募集開始予定
文化財三次元計測課程(中級編)	文化財フォトグラメトリの本質と技術体系	15名	R9.9.27	月 ～ R9.10.1	金	(内容) 発掘調査現場及び出土遺物の記録に利用するフォトグラメトリについて、講義でその本質と技術体系を理解し、ハンズオン形式の実習を通して必要な技術・手法を体得する。 (取得できる技術) 計測計画、撮影手法、三次元モデル作成・オルソ画像作成の具体的な解析手順、品質確保、図面作成及びデータ管理に関する知識と技術を習得する。また、対象や目的に応じた計測手法の選択の考え方や計測成果の活用事例等を学ぶ。 実習では、RealityScan、QGIS、CloudCompare等を使用する。	文化財行政、考古学、博物館情報	有形文化財、埋蔵文化財	7月頃募集開始予定
保存科学(木製遺物)課程	出土後の応急処置から保存処理、展示・保管まで	12名	R9.10.18	月 ～ R9.10.26	火	(内容) 出土木製遺物の保存に必要な基礎的な知識と技術の習得を目的とした課程。 木製遺物の保存処理法を中心に、発掘現場における応急処置から一時保管、保存処理後の展示・保管環境にいたるまで、一連の流れに沿った講義と実習を行う。 研修を通して、受講生自身で遺物の保存処理を実践可能となること、また処理の外注に際しても適切な仕様書の策定が可能となることを目標とする。 (取得できる技術) 木製遺物の保存に関する基礎知識	保存科学	有形文化財(考古資料等)、埋蔵文化財	7月頃募集開始予定
中・近世瓦調査課程	中・近世瓦の整理作業・調査研究に関する基礎知識の習得	15名	R9.11.9	火 ～ R9.11.12	金	(内容) 中・近世瓦の整理作業や報告、調査研究について、実物資料を用いた講義等を行う。 (取得できる技術) 中・近世瓦の調査研究に関する基礎的知識	考古学	有形文化財(考古資料)、埋蔵文化財	8月頃募集開始予定
文化財写真課程	文化財各分野の写真記録に必要な基礎知識とデジタル写真を中心とした実習	15名	R9.11.15	月 ～ R9.11.26	金	(内容)文化財の記録保存と活用において中心的な役割を持つ写真記録について必要不可欠な写真技術の基礎知識と、デジタル写真を中心とした実習を通じて実技を習得する研修。 (取得できる技術) 文化財の写真記録に関する基礎知識～技術	文化財写真、文化財学、歴史学	有形文化財、埋蔵文化財	3課程は連続して実施8月頃募集開始予定
報告書作成基礎課程	知っておいて損はない、報告書づくりの基礎知識	24名	R9.11.29	月 ～ R9.12.3	金	(内容)文化財の調査記録に必要な報告書について、出版物を見据えながら、調査の意義や作成した記録成果を効果的にまとめるための基礎知識を習得する研修 (取得できる技術) 発掘調査報告書等、記録作成に関わる基礎知識	考古学、情報学、写真学等	埋蔵文化財主体に文化財全般	3課程は連続して実施8月頃募集開始予定
報告書デジタル作成課程	楽しくて精度を高める、デジタル技術を活かした報告書づくり実践法	15名	R9.12.6	月 ～ R9.12.10	金	(内容)報告書に必要な編集知識や図版制作について、デジタル技術を活用しながら出版物作成を行うための実践的な技術を習得する研修 (取得できる技術) 報告書編集と図版制作に伴う実践的技術	考古学、情報学、写真学等	埋蔵文化財主体に文化財全般	3課程は連続して実施8月頃募集開始予定
文化財三次元計測課程(初級編)	文化財フォトグラメトリの本質と基礎技術	15名		～		(内容) 主に発掘調査現場の記録に利用するフォトグラメトリについて、講義でその本質と要点を理解し、ハンズオン形式の実習を通して実践に必要な技術・手法を体得する。 (取得できる技術) 計測計画、撮影手法、三次元モデル作成・オルソ画像作成の具体的な解析手順、品質確保、図面作成及びデータ管理に関する知識と技術を習得する。また、対象や目的に応じた計測手法の選択の考え方や計測成果の活用事例等を学ぶ。実習ではRealityScan、QGIS等を使用する。	文化財行政、考古学	有形文化財、埋蔵文化財	日程は開催希望地域と相談の上、決定。 期間は3日間程度。 ※奈文研外での開催を予定 開催地募集中 詳細が決まり次第募集開始

※1 研修参加決定通知は研修開始日の約1か月前に通知の予定です。

※2 文化財写真課程・報告書編集基礎課程・報告書デジタル作成課程は、続けて受講することができます。

※3 最新情報はウェブサイトですら随時お知らせいたします。